

## 第10回 講座・会議等記録

- 1 日 時 平成26年10月6日(月) 10時00分～14時30分
- 2 場 所 岩槻駅東口コミュニティセンター 4階多目的ルーム
- 3 準備担当 3班
- 4 講座内容 午前の部  
「地域活動への誘い」 地域生活デザイン 三浦匡史 氏
- ・ 講師は、市民ボランティアと行政との橋渡し役として活動中
  - ・ 少子化、高齢化に伴う人口減少による地域の孤独化、孤立化が問題となっている。
  - ・ 1960年には10人で一人の高齢者を支えていたが、2020年には1.9人で一人を支えることになる。
  - ・ 2100年には5,000万人割れになる可能性があり。
  - ・ 日本は日本は世界で一番単独世帯が多く、2030年には50%なる。
  - ・ 2050年には50歳以上の増加率が埼玉県が1位
  - ・ これからは新しい発想で「まちづくり」を行わないと、既存のシステムでは解決できないことがある。また、これからの「まちづくり」は市民目線での発想が必要です。
- 午後の部  
「認知症サポーター養成講座」 シニアサポートセンター 女性3名
- ・ 65歳以上の4人に一人が発症しており、予備軍が800万人
  - ・ 認知症とは、脳障害により生活に支障が生じる者
  - ・ 脳の委縮によるアルツハイマー型が半数を占めている。
  - ・ 症状は①記憶②見当識③理解、判断力④実行機能⑤その他
  - ・ 認知症患者への対応は特別扱いをしないなど。